

# こうじ 工事の げんば 現場より

今はこんな様子だよ。



## 10月2週目

きゅうとううけいじぶつてん ごうてんじょう うるしぬ さぎょう お かなぐ とりつけ こんかい こうじ うるし ぬ  
 旧東慶寺仏殿の格天井は、漆塗りの作業を終え、金具が取付られました。今回の工事で漆を塗り  
 なお はく は さ かなぐ よご お きんぱく は なお かまくら さんけいえん いちく  
 直し、箔が剥がれ錆びていた金具は汚れを落とし金箔を貼り直しましたが、鎌倉から三溪園に移築  
 さい どうよう さぎょう おこな すいてい めいじ いちく じ じょうたい よみがえ い  
 した際も同様の作業が行われていたと推定されていますので、明治の移築時の状態が蘇ったと言え  
 こうじかんりょう あと ないぶ とくべつこうかい よてい はらさんけい み いちく どうしょ はな  
 ます。工事完了の後には内部の特別公開を予定していますので、原三溪が見た移築当初の華やかな  
 くうかん あじ きかい たの ま  
 空間を味わっていただける機会、ぜひ楽しみにお待ちください。



しゅうりまえ ようす れいわ がんねん ちやくしゅまえちようさ  
 ▲修理前の様子（令和元年の着手前調査）  
 うるし つや うしな かなぐ きんぱく は さ  
 漆は艶を失い、金具は金箔が剥がれ錆び  
 ぜんたいてき ようす  
 てしまい、全体的にくすんだ様子でした。

つや うるし こくしよく きんぱく  
 艶やかな漆の黒色が金箔の  
 かなぐ ひ た ごうか よそお  
 は 貼られた金具を引き立てる豪華な装い。  
 ぶつてん かび そうしよく たてもの  
 仏殿らしらかぬ華美な装飾は、建物の  
 ゆいしょ つな  
 由緒に繋がっています。



かなぐ せいち ほ ほどこ せんさい たか てんじょう と  
 ▲金具は精緻な彫りが施された繊細なもの。高い天井に取  
 っ り付いているので、竣工後の公開時は細かい模様までは  
 しゅんこうご こうかい じ こま もよう  
 ご覧いただけないかもしれません。緻密な文様は金属面  
 ちみつ もんよう きんぞくめん  
 におくゆ  
 に奥行きをもたらす効果があります。

かなぐ わ もと と つ  
 ▲金具はいくつかのパーツに分けられていて、元に取り付け  
 いち せいかく もと かなぐ  
 てあった位置に正確に戻されます。金具のパーツはそれぞ  
 いち しる ふごう ばんづけ とりつけまえ なら  
 れに位置を記した符号（番付）をもとに、取付前に並べて  
 まちが な かくにん せいり  
 間違いが無いように確認整理しました。